

県立高校における生徒の自死について

1 事案の概要

平成30年8月21日（火）に、宮城県工業高等学校の1年生が自宅で自死した。このことに関して、10月31日（水）に、遺族から、知事及び県教育委員会に対して、原因究明のため第三者委員会による調査等を求める要望書が提出された。

2 経過

- 8月21日（火） 自宅で自死
8月22日（水） 学校職員が弔問
8月24日（金） 通夜に学校職員と生徒が参列
8月25日（土） 葬儀に学校職員と生徒が参列
9月 2日（日） 父親が来校し、本人の荷物を引き取る
10月31日（水） 遺族から要望書提出
 〔要望の主な内容〕
 ・直ちに、第三者委員会を立ち上げ調査をすること。
 ・第三者委員会には半数、遺族推薦の委員を入れること。
 ・県側が推薦する委員は県外の有識者で構成すること。
 ・直ちに教員、生徒にアンケートを取り、遺族へ報告すること。
 教育長と高校教育課長が弔問
11月 1日（木） 文部科学省への報告
11月 2日（金） 高校教育課長が自宅を訪問
11月 4日（日） 学校で臨時保護者説明会を開催
11月 6日（火） 校長が弔問
11月 8日（木） 高校教育課長が自宅を訪問
11月11日（日） 教育職員への聴き取り調査を実施
 ～16日（金）

3 今後の対応

- ご遺族と相談しながら、第三者委員会を設置し、調査等を進めていく。
- 年内には、第1回の第三者委員会を開催できるよう準備を進める。